

令和2年度

学校関係者評価報告書

令和3年6月5日

学校法人すみれ学園

高知福祉専門学校

会議議事録

会議名	学校関係者委員会（第1回）
開催日時	令和3年6月5日（土曜日） 14:00～15:55
開催場所	高知福祉専門学校 2階 演習室
出席者	<p>①委員</p> <p>井河 新也（在校生保護者） 竹村 桂子（元 高等学校教頭） 土居 沙織（高知県介護福祉士会会長）Zoom参加 山中 麻記子（江陽保育園 園長） 山本 健太郎（本校卒業生）・・・・・・計5名</p> <p>②学校</p> <p>内田 信式（学校法人すみれ学園 理事長 高知福祉専門学校 校長） 内田 力太（学校法人すみれ学園 常任理事） 山田 英俊（高知福祉専門学校 副校長 高知福祉専門学校 事務室 室長 介護福祉学科 学科長） 植田 厚子（社会福祉学科・こども福祉学科 学科長） 久野 貴裕（社会福祉学科・こども福祉学科 学科長補佐） 森田 裕之（介護福祉学科 学科長補佐） 事務局 杉村 真一（事務室職員） 奥田 新之介（事務室職員）・・・・・・計8名 （参加者合計 13名）</p>
議題等	<p>1 学校内施設見学</p> <p>2 校長挨拶</p> <p>3 出席者自己紹介</p> <p>4 趣旨説明及び自己評価概要説明 説明者：副校長</p> <p>5 各学科内容取り組みに対する説明 社会福祉学科 久野 介護福祉学科 森田 こども福祉学科 植田</p> <p>6 意見交換 委員による学校関係者評価の発表 説明についての質疑応答 意見交換 等</p>

学校関係者評価委員会（第1回）主な討議内容

発言1	教育理念・目的に添った教育が実施できている。 目標と計画も各学科ごとに具体的にきめ細かく実施されており、ほぼすべての点検項目が達成できており、高い専門性を持った教育・人材育成ができています。今後も社会福祉・介護福祉・こども福祉の魅力を発信いただきたい。
発言2	自己評価における学生からの評価の実施時期が遅くはないか また、その結果をどのようにフィードバックしているか
副校長	本校は前期・後期制をとっており、各期の終わりに常勤・非常勤ともに授業評価のアンケートを実施している。昨年は、すべてのアンケートを法人本部が回収し、そのアンケートをもとに本部職員が教員との個人面談を実施した。
発言3	自己評価について、文部科学省のガイドラインを参考にしているようだが、国家資格・専門職を育成する学校であり、点検項目によっては学校にそぐう形に変更してもよいのでは
発言4	コロナ禍において、制限された生活・活動の中、学生の意欲を向上させることが難しかったと思われるが、国家試験合格100%の達成や、高い就職率はすばらしい。今後は、社会福祉士の国家試験対策にも力を入れてほしい。
久野学科長補佐	社会福祉士国家試験は、卒業後実務経験1年経過での受験であり難関である。本校は各学校別合格者発表開始からの55名の合格者を出しており、卒業生に対する国家試験対策などが実を結んでいる。
副校長	今後は、社会福祉学科卒業生の実務3年後における介護福祉士国家試験対策にも力を入れ、より卒業教育を充実させていく。
発言5	コロナ禍で実習の受け入れも大変な中だとは思われるが、現場での記録のIT化がすすんでいる。より実習を充実させるためにも実習簿等のIT化は検討すべきでは
森田学科長補佐	現場での記録のIT化はノーリフティングとの両輪で高知県は全国に先駆けて取り組んでいる。本校でも一気に変えることはできないが、実習施設との調整の中で進めていきたい。
植田学科長	保育実習の中でも、下書き・清書に時間をとられるより、もっとこどもとの係りに重点を置いてはとの声がある。事実実習日誌の苦手な学生を一部IT処理化したことで成果の上があった事例もある。
発言6	新型コロナ感染予防の観点から、医療・介護・福祉の現場は「大変だ」という認識が広がり敬遠される傾向にある。そういう時だからこそ正しい知識・技術・使命感を持った人材を育成する重要性を広く認識してもらえる運営を続けていただきたい。
発言7	歴史の長い高知福祉専門学校は、多くの卒業生を輩出しており、各種関係団体、各種職能団体にも卒業生がいます。いろんな団体とのネットワークを築き連携をとり教育に生かしていただきたいと思います。
副校長	コロナ禍の自粛の中で、実習後の施設との意見交換会等もできていない現状ですが、以前実施していたときには、参加者の現場実習指導者の多くが、本校の卒業生であり、各種関係団体の所属者であった。コロナ自粛があげればまたそのような会を実施したいし、Web等での開催も検討していきたい。